

(令和4年2月分)

種 類	市況の概況
(水産物部の動向)	
水 産 物 全 般	<p>2月は、まん延防止等重点措置による飲食店等の営業需要が減少し、総入荷量は前年同月比で11%、総取扱金額は、前年同月比で3%下回った。</p> <p>3月はわかめ漁の最盛期を迎える。中央市場では、生鮮品、塩蔵品、乾燥品のわかめ製品を取扱っているが、生わかめを食することができるのはこの時期に限られる。さっと茹で、みそ汁や酢の物などで磯の香りを味わっていただきたい。</p>
鮮 魚	<p>鮮魚の入荷量は前年同月比で10%下回り、単価は17%上回った。</p> <p>品目別には、まだい（天然）、ふぐの入荷量は前年同月を下回り、単価は上回った。はまち（天然）、さわらの入荷量は前年同月を上回ったが、単価は上回った。</p>
冷 凍 魚	<p>冷凍魚の入荷量は前年同月比で20%下回り、単価は12%上回った。</p> <p>品目別には、冷さけ、冷えびの入荷量は前年同月を下回り、単価は上回った。</p>
加 工 水 産 物	<p>加工水産物の入荷量は前年同月比で9%下回ったが、単価は、加工商品全般で需要の伸びが見られなかったことから4%下回った。</p> <p>品目別には、塩さばの入荷量は前年同月を下回り、単価は上回った。ちりめん、ゆで丸がにの入荷量は前年同月を下回ったが、良品物の入荷が減少したことから、単価は下回った。</p>

※ 鮮魚には、貝類、淡水魚を含む。

主要品目	市況の概要
(鮮 魚) ま あ じ	長崎で水揚げされたものが主体となる入荷で、入荷量は前年同月比で４８％下回り、単価は２１％上回った。
ま い わ し	石川、千葉で水揚げされたものが主体となる入荷で、入荷量は前年同月比で９％上回り、単価は節分用の需要がみられたことから２１％上回った。
さ ば	千葉、富山で水揚げされたものが主体となる入荷で、入荷量は前年同月比で２７％下回り、単価は３１％上回った。
す る め い か	富山、宮城で水揚げされたものが主体となる入荷で、入荷量は前年同月比で５３％下回ったが、単価は、中小型物中心の入荷から６％下回った。
太 物	総入荷量は前年同月比で１２％下回り、単価は１９％上回った。
よ こ わ	長崎で水揚げされたものが主体となる入荷で、入荷量は前年同月比で５４％上回り、単価は１５％下回った。
ぶ り	長崎、鹿児島で水揚げされたものが主体となる入荷で、入荷量は前年同月比で１７％下回り、単価は３８％上回った。

※ 太物：まぐろ、きはだ、めばち

主要品目	市況の概要
<p>(冷凍魚)</p> <p>冷 さ ば</p> <p>冷 す る め い か</p> <p>(加工水産物)</p> <p>塩 さ け</p> <p>す け そ う こ</p>	<p>入荷量は前年同月比で95%上回ったが、単価は、大型物 の入荷減少による値上がりが影響し20%上回った。</p> <p>入荷量は前年同月比で27%上回ったが、単価は、大型物 主体の入荷から3%上回った。</p> <p>入荷量は前年同月比で24%下回り、単価は20%上回った。</p> <p>入荷量、単価ともに前年同月並みとなった。</p>